

かみすげたささのおか

令和3年2月26日
上菅田笹の丘小学校
学校だより3月号



上菅田笹の丘小学校 学校教育目標
自分大好き 仲間大好き
心かがやく上菅田笹の丘小学校



みんなで
東京2020
オリンピック・
パラリンピックを
応援しよう。



学校教育へのご支援に感謝

1年間の振り返りをもとに新たなスタートへ

校長 縣 利一

新型コロナ感染拡大防止のための緊急事態宣言が発令中だった、令和2年4月1日、上菅田笹の丘小学校は開校しました。新しい学校の経営テーマとして「融合」を掲げ、2つの学校・学区・地域・保護者そして子供たちが一体となって学校づくりを進めようとしていた矢先でありましたが、かろうじて入学式と始業式は行われたものの、以降は休校となり、授業再開は6月を待つこととなりました。再開後もしばらくは分散登校や短縮授業を行うという段階的なもので、給食を実施しての通常授業に戻ったのは7月からでした。また、横浜市立小学校の初のスクールバス運行も段階的な授業再開に合わせた変則的な運行計画でしたが、教育委員会と連携し、地域ボランティアのパトロール隊のご協力で大過なく運行することができました。

学校は子供たちが楽しく学ぶところであります。そこで、約2か月ほど遅れた授業を取り戻すために、年度末までの授業、行事の計画を見直し、朝の時間にはドリル学習を取り入れるなどし、子供たちの学習時間を無理なく無駄なく確保するようにしてきました。各学年・担任・専科教諭の努力の結果、学習指導要領に示された内容を今年度中に学び終える予定です。さらに、家庭学習の充実を図ることで学習事項の定着を目指しました。これは、各家庭のご協力があったればこそと感謝しております。

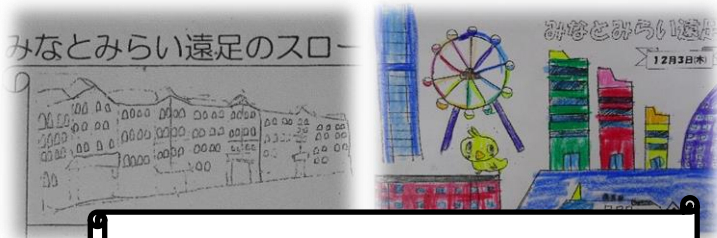
また、学校は子供たちにとって安全・安心な場所でなければなりません。万が一、濃厚接触者や陽性者が出たとしても、学校生活においてコロナいじめやクラスターを起こさないということが大切です。そのために「横浜市立学校の教育活動の再開に関するガイドライン」に従って、「うつさない、うつらない。」を合言葉に、「こまめな手洗い、マスク着用、教室を風通し良くする、下校後の消毒」などを行うとともに、給食をはじめ各教科・領域の授業（特に体育や音楽、家庭科、行事など）での3密を防ぐように努力してきました。さらに、運動会、授業参観、集会、第1回創立記念式など行事の運営につきましても、ガイドラインに基づいて規模を縮小したり密をつくらない工夫をしたりして実施をしてきました。特に、高学年の体験学習・修学旅行は宿泊を取りやめ、日帰りとしましたが安全に実施できたことは、子供たちにとっていい思い出を作ることができたと思っております。

振り返ると、コロナ禍という状況の中で、上菅田笹の丘小学校の規模と施設や校地の状況において、学校運営はどうあるべきかを試行錯誤してきた1年間でした。2月からは、ワクチン接種が医療関係者から始まり、今後、高齢者、基礎疾患保有者、16歳以上の一般の方へと広がっていきます。しかし、この感染状況は4月以降も急に変わることはないと思われまます。であるならば、令和2年度の取組を振り返りながら、学校と家庭がより一層協力して子供たちのために、安全第一で教育活動を進めていくことが最も大切であると思っております。ご回答いただきました学校評価は、コロナ禍ということもあってか多くの保護者に関心をもっていただき、590件に上り82%の回答率となりました。詳しくは別紙で報告致しますが、全体として約8割の方が学校の取組を支持していただきました。2割の方から頂いた課題を次年度の目標に掲げていきたいと考えます。

今年度も残すところ1か月となりました。学校が取り組んできたことへのご理解と、各家庭での毎朝の検温や健康観察等を始めとして、多くのご協力をしていただきましたことに、心から感謝しております。ありがとうございました。令和3年度も宜しく願いいたします。

3年生 みなとみらい遠足

3年生は、12月3日（木）に、みなとみらいに遠足に行ってきました。実行委員を中心に出発式が行われ、バス車内からキングタワー・クイーンタワー・ジャックタワー等、社会科で学習した古い建物を見ました。みなとみらいでは、「カップヌードルミュージアム」でカップラーメン工場の様子や、インスタント麺づくりの工夫について学び、オリジナルのカップヌードルを作る体験をしました。マナーを守って横浜らしい地区を巡り、楽しく1日を終えることができました。



大活躍の実行委員たち！



バスの車内から町の様子を見学だ！



お楽しみのカップヌードルミュージアム！



ふむふむ...



しっかり離れて
「いただきます！」



個別級学習発表会

例年保土ヶ谷公会堂にて行われる、保土ヶ谷区個別支援学級合同学習発表会は、新型コロナウイルス感染予防のために中止となってしまいましたが、校内発表に向けて一生懸命練習を行っています。今年度は、密を避けるために、低学年・3年生・4年生・高学年の4グループに分かれて発表内容を考えました。テーマは「よこはま」です。グループごとに、取り組む教科・内容が様々で、見どころ溢れる発表になりそうです。

練習中は、一人ひとりが真剣によりよい発表にするために、よく考えて行動できました。みんなで一つの物を作り上げる、素敵な経験となりました。

低学年



1・2年生は、探検の約束やルールを覚えて並び方や歩き方の練習をし、「たんけんマスター」になって、学校周辺へ出かけました。公園やお店、神社などへ行く中で、自分が見つけたたくさんの「お気に入り」の中から、選りすぐりの一つを発表します。本番の撮影に向けて、掲示物を準備したり、声がよく聞こえるように何度も読む練習をしたり、一生懸命がんばりました。

三年生



3年生は、みなとみらい校外学習の移動の際に、バスの中から探した横浜三塔（キング・クイーン・ジャック）について紙芝居を見て、理解を深めました。知った事柄の中から、三塔のグループに分かれてクイズを考えました。本番の撮影に向けて、クイズのイラストを描いたり、何年生でも楽しめるクイズを考えたりするなど、一人ひとりが積極的に取り組みました。

四年生



4年生は、「ヨコハマはじめて物語」というテーマで、港が開かれてから、伝わったものについて分担して調べ、まとめました。アイスクリーム、ビール、牛乳、パンなど協力して丁寧に絵を描きました。そして、みんなに分かりやすく伝えようと聞き合いをして、手直しや声出し練習をしました。最後には、大道芸のいろいろな技も披露しました。

高学年



5・6年生は、横浜市立小学校体育大会で例年6年生が取り組んでいる「レッツ・ダンス・ウィズ・ヨコハマ」という表現運動に挑戦しました。体をダイナミックに使ったり、ゆっくり滑らかに手足を動かしたり、曲調に合わせた表現を一人ひとりが考えました。今年度、体育大会が中止になってしまったので、横浜市の6年生の思いも背負って全力で取り組みました。